

令和5年度 織田中学校スクールプラン

〈 校 訓 〉

- 啓智 成徳 錬磨

〈 教育目標 〉

- 夢に向かって主体的に生きる生徒の育成

〈 めざす生徒像 〉

「考える生徒」

- 自分の学びを 自分の今を 自分の未来を
- 仲間のことを 世の中のことを
- ふるさとのことを

〈 重点目標 〉

- 生徒主体の授業と諸活動を創造し「魅力ある学校」を実現する

重点事項・本年度目標

確かな学力

学びがいのある授業づくり

- ・授業の中で、学ぶ楽しさを感じる生徒が80%以上
- ・授業が分かる生徒が80%以上

家庭学習・読書習慣の確立

- ・進んで家庭学習や読書に取り組む生徒が80%以上

豊かな心

自分で考え、決定し、行動を起こす力の育成

- ・自分で物事を考え、決定し、行動することができたと感じる生徒が90%以上

安心感の醸成

- ・安心して学校生活を送る生徒が100%

具体的方策

学びがいのある授業づくり

- ・主体的、協働的に学ぶことのできる単元構成、学習課題、学習過程を工夫する。
- ・学習過程においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざす。

家庭学習・読書習慣の確立

- ・効果的な学習方法を工夫させるとともに、習慣化するための指導をする。
- ・定期的に読書タイムを実施するとともに、書評や感想を紹介しあう場を設ける。

自分で考え、決定し、行動を起こす力の育成

- ・授業や生徒会、学校行事、部活動等を生徒主体の活動になるように支援する。
- ・生徒が学校運営に参画できる場を設ける。

安心感の醸成

- ・定期的にアンケートや教育相談等を実施し、生徒の困り感を把握し解決に努める。
- ・定期的にポジティブ教育を実施し、生徒の安心感を育む。

〈業務改善のための取組〉 本務に集中できる環境づくり

→業務の効率化やその他の施策により、超勤45時間/月を超える職員を半減させる。